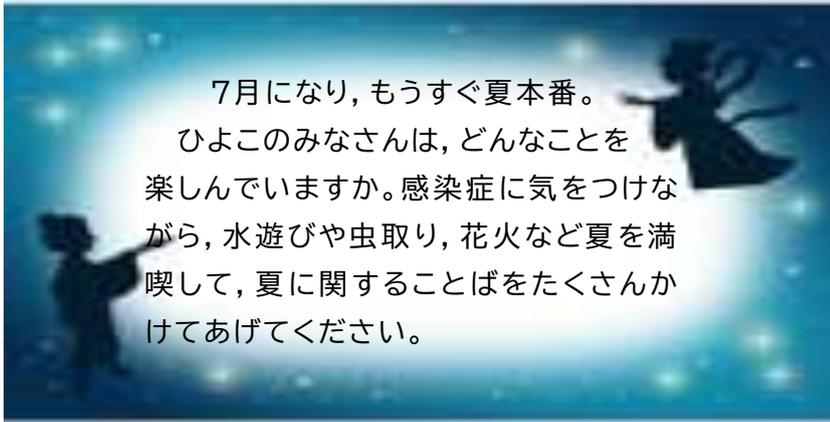


ひよこ相談だより

2020. 7

No. 4



7月になり、もうすぐ夏本番。
ひよこのみなさんは、どんなことを
楽しんでますか。感染症に気をつけな
がら、水遊びや虫取り、花火など夏を満
喫して、夏に関することばをたくさんか
けてあげてください。

夏の補聴器管理

汗をたくさんかく時期は、補聴器
のチューブに湿気がたまりやすいで
す。補聴器の汗を丁寧にふき取り、
乾燥ケースに入れてメンテナンスし
ましょう。放電が進まないように、
電池を取り出してからケースにい
れてくださいね。



うたあそび

「アイアイ」

♪ アイアイ(アイアイ) アイアイ(アイアイ)
おさるさんだよ・・・♪

◎ 「アイアイ」の身振りをお子さんに見せたり、お子さんの手をとって動かしてあげたりして楽しみましょう。

また、「南の島の」ではフラダンスのように踊ってみたり、「しっぽの長い」では指でしっぽを表してみたりしてはいかがでしょう。

◎ さるの絵や写真を見たとき、「しっぽ長いね」、「バナナを食べているね」など広げてあげてください。

うたに関連する 手話表現



「さる」



「きいろ」



「あか」



「あお」



「すき」



「どんないろがすき」

♪ どんないろが すき 「あか！」
あかいろが すき・・・♪

◎ 赤い物や青い物などを持って見せながら歌ってみてはいかがでしょう。

◎ 真似ができるお子さんには、「あか」「あお」「きいろ」の手話表現で歌ってみましょう。「あかいくるまだね。」「きいろいバナナどうぞ。」とやりとりでも使って見てください。

ことばの 質問コーナー



補聴器や人工内耳を装用するのに慣れてきて、長い時間つけていられるようになりました。音が入っているので、もう大丈夫そうです。家庭でも保育園（幼稚園）でも、特に気をつけることはないと思うのですが。



補聴器や人工内耳を長い時間装用できるようになって、良かったですね。ただ音が入るようになったからと言って、全く心配がない、というわけでもありません。

まず補聴器や人工内耳を通しての聞こえ方は、健聴の人の聞こえ方とは少し違うようだとされています。少しこもっていたり、ひずんでいたりするようです。さらに、目の前にいる人の話し声だけでなく、周囲の環境音なども一緒に耳に入ってきます。言われたことを理解するためには、人一倍集中して聞き取り、少し聞き取りにくかったところを目で見たことや話の流れなどから推測していく必要があります。場合によっては聞き間違えや聞きもらしなども出てきます。

そのため、補聴器・人工内耳を装用していても視覚的な情報が大切になってきます。指さしや身振りだけでもずいぶん助けになります。また手話、絵や写真・文字なども大事な情報です。

また、幼稚園や保育所など集団の場では、先生のことばが直接補聴器や人工内耳にとどく「補聴システム」というものがあります。環境音にさえぎられることなく必要な音声が耳に入ってくるので、必要に応じて使ってみるのもよいでしょう。

これら聞こえについての情報は、ひよこのスタートプログラムでもお話ししています。ぜひ個別の相談で聞いてみてください。

よろしく
お願いします

早期教育担当の細川和貴子^{ほそかわわきこ}です。



YouTubeの手遊びも
ご覧ください。
いっしょに楽しみましょう♪

日々の子育ての中で、「こんな言葉を覚えた！」「これができるようになった！」という小さな喜びでも、家族みんなで子どもを囲んで喜ぶと、大きな喜びになりますよね。ひよこの相談の場も、そんな温かい場にしていきたいと思います。そして、お子さんが生き生きと遊ぶことができるように頑張ります。どうぞよろしくお願いします。